社会福祉法人三島市社会福祉協議会

令和元年度事業報告書

近年、少子高齢化や核家族化の急速な進展、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加など地域における社会環境の変化に伴い、福祉や生活に関わる課題は多様化・複雑化し、既存のサービスだけでは対応が難しい状況となっており、その課題解決に向けた取り組みが急がれております。このような中、国では、支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の様々な団体などが地域づくりに「我が事」として関わり、人と人、人と地域の福祉活動などが、世代や分野を超えて「丸ごと」つながる地域共生社会の実現に向けて、地域力の強化、地域住民の地域福祉活動への参加促進、包括的な支援体制づくりを進めております。

本会では、「ふれあい、支え合い、思いやりの気持ちを実践するまち」を基本理念とする「第3次三島市地域福祉計画」と整合性を図りながら策定した「第3次地域福祉活動計画」の「地域福祉への関心と市民参加を高める意識づくり」、「地域をつなぎ福祉基盤を充実する仕組みづくり」、「健康で安全・安心に暮らせる環境づくり」という3つの基本目標達成に向けた取り組みを実施し、社協活動に対する市民の理解を深め、より多くの皆様に参加・協力して頂けるように分かりやすい情報発信などに努めてまいりました。

また、「地域福祉の推進を図ることを目的」と位置付けられた社会福祉協議会の「公共性」と、民間組織としての「自主性」という2つの側面を併せ持つ組織力を活かし、地域住民やボランティア、福祉・保健などの関係者、行政機関などとの連携による、「市民の誰もが安心して、自分らしく、いきいきと、自立した生活ができる地域社会の実現」を目指し、各種事業に取り組んでまいりました。

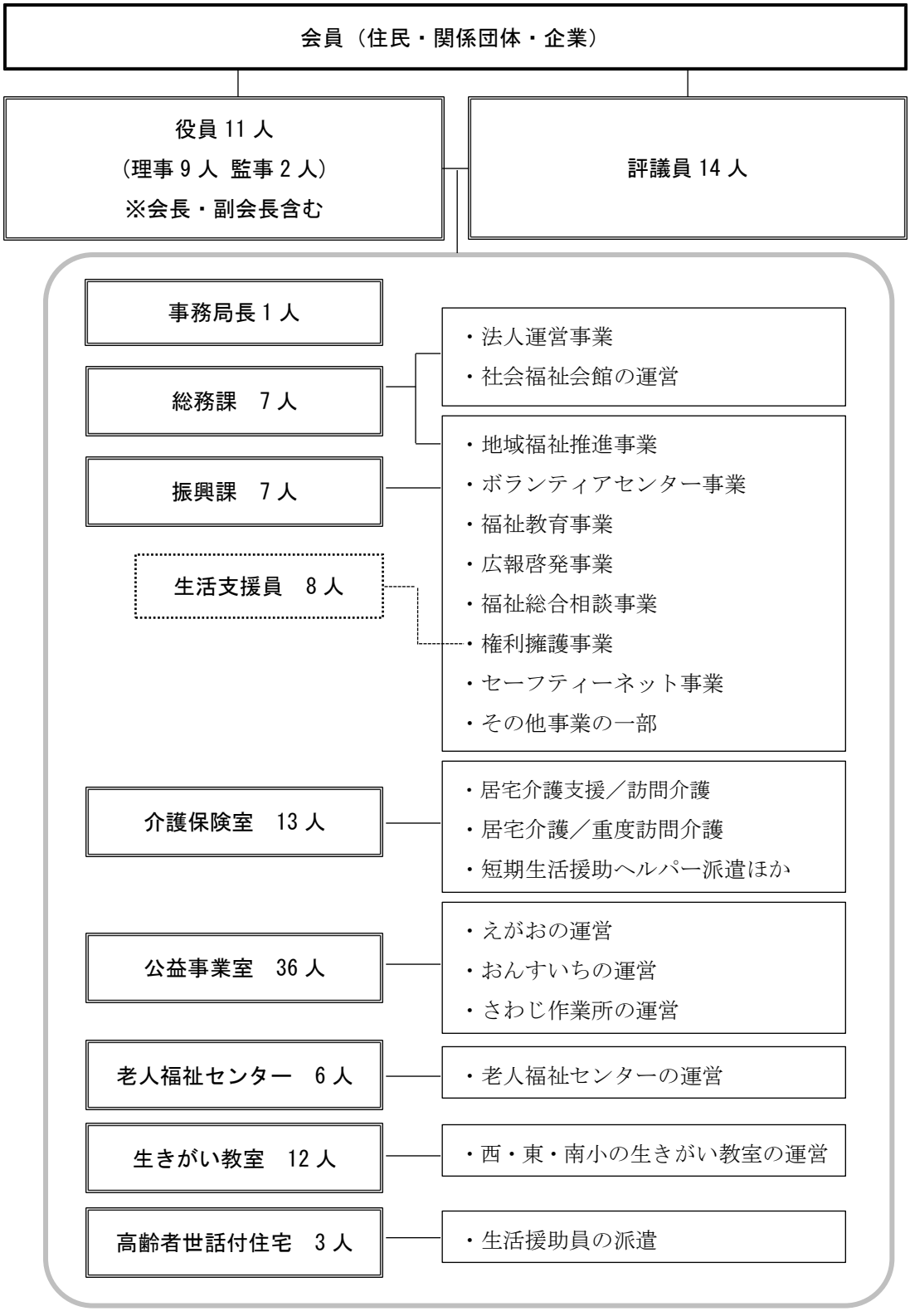
以下、各事業の推進状況等について報告いたします。

Ⅰ　重点項目

1	地域福祉活動計画の推進	該当事業：地域福祉推進事業
2	地域包括ケアシステムの推進	該当事業：地域福祉推進事業
3	権利擁護体制の充実	該当事業：権利擁護事業
4	広報啓発事業の充実	該当事業：広報啓発事業

Ⅱ　組織構成と事業体型図

（令和２年３月 31 日現在）



Ⅲ　実施事業報告

１　法人運営事業

（１）組織運営のための会議等の開催

本会の定款に基づき、法人運営に必要な「理事会」、「評議員会」、「監事監査」を開催しました。

①理事会の開催状況

開催日	議題等
令和元年 6月11日(火)	・平成30年度三島市社会福祉協議会事業報告について ・平成30年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について ・三島市社会福祉協議会定時評議員会に提案する監事候補者の選定について ・三島市社会福祉協議会定時評議員会に提案する理事候補者の選定について ・三島市社会福祉協議会評議員選定委員会に提案する選任候補者の推薦及び評議員選定委員会の開催について ・定時評議員会の招集について
令和元年 6月26日(水)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会会長･副会長･常務理事の選定について
令和元年 9月6日(金)	・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和元年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社会福祉協議会会長表彰について ・三島市社会福祉協議会社会福祉振興基金管理委員会委員の選任について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程案について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会給与に関する規程の一部を改正する規程案について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定就労継続支援(B型)事業所さわじ作業所運営規程の一部を改正する規程案について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所おんすいち運営規程の一部を改正する規程案について

	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所えがお運営規程の一部を改正する規程案について ・評議員会の招集について
令和元年 12 月 12 日(木)	・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・三島市社会福祉協議会評議員選定委員会に提案する選任候補者の推薦及び評議員選定委員会の開催について ・評議員会の招集について
令和 2 年 3 月 18 日(水)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会成年後見事業実施規程の一部を改正する規程(案)について ・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和 2 年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和 2 年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について ・評議員会の招集について ・障害者福祉施設の施設長等の人事異動について ・三島市社会福祉協議会評議員会に提案する理事候補者の選定について
令和 2 年 3 月 30 日(月) (書面による議決)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会常務理事の選定について

②評議員会の開催状況

開催日	議題等
令和元年 6 月 26 日(水)	・平成 30 年度三島市社会福祉協議会事業報告について ・平成 30 年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について ・三島市社会福祉協議会役員(監事)の選任について ・三島市社会福祉協議会役員(理事)の選任について
令和元年 9 月 18 日(水)	・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について

令和元年 12 月 20 日(金)	・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
令和 2 年 3 月 27 日(金)	・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和 2 年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和 2 年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について ・三島市社会福祉協議会役員(理事)の選任について

③監事監査の開催状況

開催日	議題等
令和元年 5 月 28 日(火)	平成 30 年度事業及び決算の監査
令和元年 11 月 8 日(金)	令和元年度中間監査

④その他会議の開催状況

開催日	会議名・議題
令和元年 6 月 14 日(金)	評議員選定委員会 ・三島市社会福祉協議会評議員の選任について
令和元年 8 月 28 日(水)	正・副会長会議 ・三島市社会福祉協議会会長表彰被表彰者の選考について
令和元年 12 月 16 日(月)	評議員選定委員会 ・三島市社会福祉協議会評議員の選任について

（２）会費の状況

区分	当年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
住民会費 (1 世帯 200 円)	40,691 件	6,863,526 円	38,597 件	6,616,760 円
団体会費 (1 口 1,000 円以上)	49 件	112,000 円	52 件	108,000 円
賛助会費 (1 口 1,000 円以上)	199 件	341,000 円	235 件	395,000 円
合計	40,939 件	7,316,526 円	38,884 件	7,119,760 円

（３）寄附金の状況

区分		当年度		前年度	
		件数	金額	件数	金額
一般寄附金	法人運営拠点区分	25 件	637,369 円	26 件	906,554 円
	えがお拠点区分	6 件	158,200 円	5 件	215,910 円
	さわじ作業所拠点区分	9 件	604,000 円	6 件	45,000 円
	おんすいち拠点区分	7 件	167,000 円	7 件	70,000 円
合計		47 件	1,566,569 円	44 件	1,237,464 円

（４）社会福祉振興基金及び社会福祉整備積立金等の状況

退職給与積立金は 1 名の退職に伴い 233,200 円を取り崩し、年度末必要額まで 9,913,790 円を積み立て 75,721,740 円となり、そのほか資金運用積立金、車輌購入等積立金をあわせて 2,379,000 円を取り崩し、積立金累計額は 784,260,172 円となりました。

基金等種類	前年度末積立金	本年度積立金(上段) 本年度取崩額(下段)	積立金累計額
社会福祉振興基金	542,843,383 円	0 円 0 円	542,843,383 円
社会福祉整備積立金	136,196,713 円	0 円 0 円	136,196,713 円
退職給与積立金	66,041,150 円	9,913,790 円 233,200 円	75,721,740 円
資金運用積立金	28,648,336 円	0 円 1,500,000 円	27,148,336 円
施設整備積立金	500,000 円	0 円 0 円	500,000 円
車輌購入等積立金	2,729,000 円	0 円 879,000 円	1,850,000 円
合計	776,958,582 円	9,913,790 円 2,612,200 円	784,260,172 円

２　地域福祉推進事業

（１）地域福祉活動計画の策定及び周知

「地域福祉活動計画」とは、市町行政が策定した「地域福祉計画」と連携し、住民及び福祉関係団体や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわるために、市町社協が中心となって策定する具体的な活動計画です。

三島市においては、平成 28 年 3 月に「第 3 次三島市地域福祉計画」が策定されました。三島市社協では、この計画との整合を図りながら、第 2 次計画（平成 23 年 3 月策定）の成果や課題を受け継ぎ、多様化するニーズに対応するため、平成 28 年 4 月からの 5 か年を計画期間とする「第 3 次地域福祉活動計画」を策定しました。

今年度は、現行計画が令和 2 年度末で終了することから、次期計画の策定にあたり、近所付き合いや地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、日常生活で感じていることなどのご意見を広くお聞きするために、三島市と協働で下記アンケート調査を実施しました。

調　査　名　称	三島市 地域福祉計画策定のためのアンケート調査
調　査　内　容	調査対象者：無作為抽出による 15 歳以上の市民 2,000 人 調 査 方 法：郵送による配布・回収 調 査 期 間：令和元年 12 月 23 日～令和 2 年 1 月 14 日
調　査　項　目	あなた自身について（問 1～7） 福祉について問数（問 8～14） 地域生活に関することについて（問 15～21） 地域での助け合いや支え合いについて（問 22～33） ボランティア活動などにかんすることについて（問 34～36） 福祉施策に関することについて（問 37～40） 三島市社会福祉協議会について（問 41～45）
配布・回収状況	配布数：2,000 票　回収数：964 票　回収率：48.2%

【調査結果】※三島市社会福祉協議会該当分（問 41～45）のみ抜粋　　単位：%

問 41	三島市社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせるまち・三島市を目指し、地域の住民の方とともに地域福祉の推進を図る民間団体です。あなたは三島市社会福祉協議会を知っていますか？	所在地を含めて、よく知っている	10.7
		なんとなく知っている	19.0
		名前は聞いたことがある	31.0
		知らない	35.8
		無回答	3.5
問 42	三島市社会福祉協議会が実施している以下の事業で知っているものはありますか。	三島市共同募金会業務	42.1
		社協だより等の広報活動	29.9
		生活の困りごと等の相談業務	27.8
		障がい者施設の運営	26.7

		福祉車両等の貸出事業	17.4
		介護保険事業所等の運営	15.9
		高齢者生きがい教室の運営	14.0
		市の指定管理業務受託	12.8
		日常生活自立支援事業	11.6
		ボランティアに関する事業	10.6
		居場所・サロン活動の支援	10.2
		生活福祉資金の貸付等	9.5
		福祉教育に関する事業	9.1
		成年後見に関する事業	8.6
		福祉活動団体への助成	8.3
		いずれも知らない	27.2
		無回答	7.3
問43	三島市社会福祉協議会が地域の住民の方とともに地域福祉を推進していくために、積極的に取り組むべき活動はどのようなことだと思いますか。	情報提供の充実強化	27.6
		見守り、支え合い活動等の支援	26.5
		自治会等との連携強化	21.3
		地域支援の体制づくり	19.5
		各種相談業務の充実	17.7
		福祉教育等の啓発活動	14.8
		高齢者等への権利擁護支援	12.0
		生活困窮者への経済的支援	7.4
		ボランティアの活動支援	7.4
		福祉以外の分野(環境など)	2.5
		その他	3.1
		無回答	8.3
問44	あなたのお住いの地域で既存の制度では対応できない福祉課題が発見されたとき、職員とともに課題について考える場への参加を呼びかけられた場合、あなたはどのように対応しますか。	積極的に一緒に考えたい	4.6
		時間があれば一緒に考えたい	44.9
		理想的だが、そこまではできない	43.2
		住民が考える必要はない	1.9
		無回答	5.5
問44-1	上記のように考える主な理由を教えてください。	専門職である社協が解決方法を住民へ提案するべき	24.4
		社協と地域役員が話し合い、その結果を住民へ伝えるべき	12.2
		社協と行政が話し合い、その結果を地域役員と考えていくべき	17.5

		福祉課題は、その家庭内で解決することが基本	10.4
		他人の家庭にまで入り込む必要はない	13.1
		関心がない	7.1
		その他	12.7
		無回答	2.5
問45	三島市社会福祉協議会の会員区分には、「一般会員」と「賛助会員」があり、市民の皆様が「一般会員」であることはご存知ですか。	知っている	2.9
		知っているが、会員の役割は知らない	10.7
		知らない	83.0
		無回答	3.4

（２）小地域福祉活動リーダー・福祉の担い手等の養成

住民が主体となって地域福祉活動を進めていけるよう、地域における福祉の担い手養成に取り組みました。

①地域安心サポーター養成講座の開催

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容／講師	参加者
令和元年 11 月 22 日（金）	運動の講義と実技講義 講師：稲益大悟氏（しずおか健康長寿財団健康運動指導士）	26 名
令和元年 11 月 29 日（金）	社会参加の講義 講師：久保田晃生氏（東海大学体育学部教授）	30 名
令和元年 12 月 6 日（金）	栄養の講義 講師：佐々木和子氏（管理栄養士）	18 名

（３）生活支援コーディネーター業務

日常生活において、支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、第２層生活支援コーディネーターとして高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に取り組みました。

①三島市及び第１層生活支援コーディネーターとの打合せ会

開催日	場所
平成 31 年 4 月 25 日（木）	三島市社会福祉会館
令和元年 5 月 28 日（火）	三島市社会福祉会館
令和元年 7 月 4 日（木）	三島市社会福祉会館
令和元年 8 月 8 日（木）	三島市社会福祉会館
令和元年 9 月 9 日（月）	三島市社会福祉会館
令和元年 10 月 7 日（月）	三島市社会福祉会館
令和元年 11 月 7 日（木）	三島市社会福祉会館
令和元年 12 月 9 日（月）	三島市社会福祉会館
令和 2 年 1 月 9 日（木）	三島市社会福祉会館
令和 2 年 2 月 6 日（木）	三島市社会福祉会館

②各関係会議参加による地域の福祉課題と社会資源の把握

ア．介護予防・生活支援体制整備推進協議会への参加

開催日	場所
令和元年 7 月 29 日（月）	三島市役所
令和 2 年 2 月 10 日（月）	三島市役所

イ．地域コミュニティ連絡会への参加

開催日	場所	対象校区
令和元年 5 月 21 日（火）	錦田公民館	錦田小
令和元年 5 月 24 日（金）	錦田公民館	向山小
令和元年 5 月 27 日（月）	市民体育館	山田小
令和元年 6 月 5 日（水）	市民体育館	沢地小
令和元年 6 月 7 日（金）	市民体育館	北小
令和元年 7 月 2 日（火）	坂公民館	坂小
令和元年 7 月 4 日（木）	北上文化プラザ	徳倉小
令和元年 7 月 9 日（火）	中郷文化プラザ	長伏小
令和元年 7 月 11 日（木）	北上文化プラザ	北小
令和元年 7 月 17 日（水）	中郷文化プラザ	中郷小

令和元年 7 月 18 日（木）	北上文化プラザ	佐野小
令和元年 7 月 22 日（月）	消防署	南小
令和元年 10 月 4 日（金）	錦田公民館	錦田小
令和元年 10 月 8 日（火）	錦田公民館	向山小
令和元年 10 月 10 日（木）	坂公民館	坂小
令和元年 10 月 15 日（火）	消防署	南小
令和元年 10 月 23 日（水）	市民体育館	沢地小
令和元年 10 月 25 日（金）	市民体育館	北小
令和元年 10 月 28 日（月）	市民体育館	山田小
令和元年 10 月 29 日（火）	中郷文化プラザ	中郷･長伏小
令和元年 11 月 1 日（金）	北上文化プラザ	佐野小
令和元年 11 月 5 日（火）	北上文化プラザ	北上小
令和元年 11 月 14 日（木）	北上文化プラザ	徳倉小

ウ．介護予防のための地域ケア個別会議に参加

開催日	場所
平成 31 年 4 月 15 日（月）	三島市役所
令和元年 5 月 14 日（火）	三島市役所
令和元年 6 月 19 日（水）	三島市役所
令和元年 7 月 17 日（水）	三島市役所
令和元年 8 月 20 日（火）	三島市役所
令和元年 9 月 18 日（水）	三島市役所
令和元年 10 月 16 日（水）	三島市役所
令和元年 11 月 14 日（木）	三島市役所
令和元年 12 月 17 日（火）	三島市役所
令和 2 年 1 月 15 日（水）	三島市役所
令和 2 年 2 月 18 日（火）	三島市役所
令和 2 年 3 月 17 日（火）	三島市役所

（4）居場所・サロンの支援

地域における互助の振興を目的に、住民主体による居場所・サロン活動の立ち上げ・運営継続のための支援に取り組みました。

①居場所・サロン等の登録状況

ア．居場所・サロン

No.	名称	地区	
1	井戸端会議	北上	光ヶ丘

2	木曜サロン	北上	徳倉
3	歩歩笑サロン	北上	光ヶ丘
4	ほっとカフェ	北上	富士ビレッジ
5	介護予防カトレア体操	北上	芙蓉台
6	芙蓉台自治会居場所	北上	芙蓉台
7	たまりばかど	北上	富士ビレッジ
8	コミュニティースペース・ジモット	北上	徳倉
9	居場所 101	北上	光ヶ丘
10	ちょっくらカフェ	旧市内	西本町
11	シャルマンカフェ	旧市内	加茂川町
12	サロン大宮	旧市内	大宮町
13	さくらサロン	旧市内	加茂
14	南二日町サロン	旧市内	南二日町
15	コミュニティカフェ悠遊	旧市内	若松町
16	ひなたぼっこの会	旧市内	大社町
17	にこにこ会	旧市内	南田町
18	交流喫茶なみき	錦田	並木
19	Welcome サロン三恵台	錦田	三恵台
20	すずめ会	錦田	谷田
21	旭ヶ丘なかよし体操	錦田	旭ヶ丘
22	旭ヶ丘カフェ	錦田	
23	初音台夏すみれ	錦田	初音台
24	玉沢健康体操弥生	錦田	玉沢
25	喜楽会	錦田	谷田
26	すこやかサロン	錦田	小山押切
27	ひだまりの会	錦田	中
28	中・福祉会健幸サロン	錦田	中
29	さんすい	錦田	城の内
30	コミュニティカフェ安久	中郷	安久
31	シェアカフェ・クリチバ	中郷	藤代町
32	東大場図書館&喫茶	中郷	東大場
33	パサディナ自治会コミュニティ活動	中郷	パサディナ
34	コミュニティカフェ花笑み	中郷	新谷
35	サロン松本	中郷	松本
36	多呂サロン	中郷	多呂
37	ラジヨガ７	旧市内・北上・中郷	南本町・光ヶ丘・パサディナ

▲交流喫茶なみき

イ．認知症カフェ

No.	名称	地区	
1	オレンジほっとカフェきたうえ	北上	萩
2	おれんじほっとサロン	旧市内	中央町
3	すまいるカフェ☺錦田	錦田	谷田藤久保
4	ふらっとうめな	中郷	梅名

ウ．地域（子ども）食堂・学習支援

No.	名称	地区	
1	日の出食堂	旧市内	日の出町
2	三島子育て学習サポート寺子屋	錦田	谷田
3	みんなのえがおおたまちゃん食堂	旧市内・錦田	中央町・谷田

②居場所・サロン連絡会

居場所・サロンの連携、情報交換、共有等を図るため連絡会を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和元年 9 月 17 日（火）	各居場所・サロン関係者同士の情報交換 開催場所：三島市社会福祉会館	19 団体 39 名

③身近な地域の居場所づくり助成事業

居場所の開設・運営に必要な経費を年間活動日数に応じて助成。また、世代間交流を行う団体に対して1万円を限度に助成しました。

名称	活動日数	世代間交流	助成額
中福祉会健幸サロン	30	×	20,000 円
芙蓉台自治会	12	○	20,000 円
すこやかサロン	12	○	20,000 円
ひなたぼっこの会	24	×	15,000 円
シャルマンカフェ	24	×	15,000 円
新谷コミュニティカフェ花笑み	96	○	40,000 円
初音台夏すみれ	22	×	15,000 円
さくらサロン	44	×	25,000 円
三島市子育て学習サポート寺子屋	80	○	40,000 円
歩歩笑サロン	9	○	15,000 円
合計 10 団体（世代間交流あり 5 団体）			225,000 円

▲三島市子育て学習サポート寺子屋

▲新谷コミュニティカフェ花笑み

（５）芙蓉台地区モデル事業住民参加型在宅福祉サービスおたがいさまサービス事業

「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」の実現にむけ、地域福祉の原点である住民主体の原則にもとづき、福祉制度では対応できない生活課題を住民主体で解決できるように、サービスを利用する方も提供する方も住民の、“住民参加型在宅福祉サービス”のモデル地区を芙蓉台に選定して平成29年10月1日より実施しました。

登録状況・活動実績

利用会員	協力会員	活動件数	内容
15 名	9 名	77 件（2,310 分）	買い物・通院時の付き添いほか

（６）光ヶ丘県営住宅空き住居を利用した居場所事業

高齢化率が高い光ヶ丘地区において、住民の主体的な福祉活動を促進するために光ヶ丘県営住宅空き住居を利用した居場所の運営を支援しました。

活動日	場所	利用者
毎週水曜日 10:00～12:30 ※年間活動日数 47 日	光ヶ丘県営住宅 9 棟 101 号室	延べ 486 名

（７）地域支え合い会議（勉強会）の開催

地域住民と共に、地域の困りごとや課題を共有し、解決に向けた取り組みを考えていく標記勉強会を市内４地区で開催しました。

開催日	場所	地区	参加者
平成 31 年 4 月 12 日（金）	北上文化プラザ	北上	28 名
令和元年 5 月 21 日（火）	中郷文化プラザ	中郷	9 名
令和元年 5 月 31 日（金）	錦田公民館	錦田	14 名
令和元年 6 月 11 日（火）	三島市社会福祉会館	旧市内	8 名
令和元年 7 月 12 日（金）	北上文化プラザ	北上	8 名
令和元年 7 月 19 日（金）	三島市社会福祉会館	旧市内	15 名
令和元年 8 月 22 日（木）	中郷文化プラザ	中郷	7 名
令和元年 9 月 6 日（金）	錦田公民館	錦田	20 名
令和元年 9 月 30 日（月）	三島市社会福祉会館	旧市内	12 名
令和元年 11 月 15 日（金）	中郷文化プラザ	中郷	9 名
令和元年 12 月 6 日（金）	錦田公民館	錦田	23 名
令和元年 12 月 13 日（金）	北上文化プラザ	北上	20 名
令和元年 12 月 16 日（月）	三島市社会福祉会館	旧市内	13 名

（８）その他、地域福祉推進に向けた取り組み

①地域ケア会議への参加

開催日	主催	会議テーマ
令和元年 6 月 14 日（金）	中郷地区地域包括支援センター	多問題世帯が今後も地域で暮らしていくために
令和元年 6 月 24 日（月）	中郷地区地域包括支援センター	日中独居世帯の認知症の人が地域で生活してくためにできること
令和元年 7 月 23 日（火）	北上地区地域包括支援センター	三島佐野地区での生活課題について
令和元年 9 月 19 日（木）	北上地区地域包括支援センター	移動手段で困難と感じた事例
令和元年 12 月 4 日（水）	北上地区地域包括支援センター	自主防災を考える
令和 2 年 2 月 19 日（水）	北上地区地域包括支援センター	独居の高齢者を地域で支える

②講師派遣

地域福祉の振興・向上に資するため本会職員を講師として派遣しました。

開催日	対象	内容
平成 31 年 4 月 16 日（火）	北地区民生委員児童委員協議会　20 名	地域支え合い会議について
平成 31 年 4 月 16 日（火）	民生委員児童委員協議会地域福祉部会　35 名	成年後見制度の現状
平成 31 年 4 月 27 日（土）	新谷コミュニティカフェ花笑み利用者等 30 名	高齢者の財産と権利を守る支店や制度について
令和元年 7 月 16 日（火）	民生委員児童委員協議会地域福祉部会　35 名	居場所づくりの現状
令和元年 8 月 2 日（金）	地域ﾃﾞﾋﾞｭｰ講座頑張れｼﾆｱの受講者　25 名	社会資源の紹介
令和元年 8 月 22 日（木）	認知症ｻﾎﾟｰﾀｰｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ講座修了者　10 名	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと認知症の方への対応について
令和元年 10 月 5 日（土）	御殿場市・小山町市民後見人養成研修　受講者 45 名	市民後見概論
令和元年 10 月 31 日（木）	介護相談員、施設職員等 25 名	ボランティアの活用について

令和２年１月 29 日（水）	認知症ｻﾎﾟｰﾀｰｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ講座修了者　10 名	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと認知症の方への対応について

３　ボランティアセンター事業

（１）ボランティア登録

効果的な情報発信とボランティアコーディネート等に活用するため、ボランティア登録の受付を行いました。　（令和２年３月 31 日現在）

内訳		登録数
グループ	高齢者に関わる活動	17 件
	障害者等に関わる活動	9 件
	児童・子育てに関わる活動	17 件
	災害時に関わる活動	6 件
	環境に関わる活動	16 件
	趣味・特技・資格等を活かした活動	10 件
	その他の活動	13 件
	計	88 件
個　人	傾聴、読み聞かせ、マジック、被災地支援ほか	119 名

（２）ボランティアコーディネート

ボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティア登録の受付、活動先の斡旋・調整などを行いました。

主なコーディネート内容	
・市内視覚障がい者を対象とした広報みしま等の点訳・音訳 ・選挙開票時の点字判読者派遣 ・録音図書作成時の日本文藝家協会への著作物使用許諾申請 ・福祉施設等イベント時のボランティア募集・派遣 ・ボランティア活動希望者への活動先斡旋 ・社会貢献活動に取り組む企業の発掘・支援 ・福祉関係団体が行う活動の周知・協力・呼びかけ　ほか	 ▲フードバンクふじのくに主催のフードドライブ（食糧寄附活動）協力の呼びかけ

（３）ボランティア入門講座 折り紙編の開催

ボランティア活動をしたいが一人で飛び込む勇気がない、どのような活動をしてよいかわからないなど、潜在的ボランティアが、趣味・特技を活かして活動に結びつくように応援する「ボランティア入門講座 折り紙編」を開催しました。また、ボランティア活動の受け皿として折り紙ボランティア「おりひめ」を立ち上げ、毎月１回活動日を設けるなど、その活動を支援しました。

開催日	場所	参加者
令和元年９月 20 日（金）	三島市社会福祉会館	43 名

（４）三島市ボランティア連絡協議会の事務局運営

ボランティア活動の推進や会員相互の交流・連携を深めることに賛同したグループと個人会員から構成される 147 名の組織の事務局を担い、研修会の開催、他市町で活動するボランティアとの交流、施設行事の手伝い等を行いました。また、年間の活動費として助成金 150,000 円を交付しました。

（５）将棋ボランティア「一七の会」の事務局運営

地域で生活している高齢者等と将棋の対戦相手をするボランティアとして平成 27 年 11 月 17 日に立ち上げ、以降、当会で事務局を担い活動調整を行っています。また、従来の活動のほかに世代間交流を含めた将棋教室を開催しています。

メンバー	内容	実績
11 名	市内高齢者宅、福祉施設等へのボランティア派遣	派遣回数 232 回
	将棋教室・大会の開催	平成 31 年４月１日（月）参加者 34 名 令和元年８月６日（火）参加者 42 名 令和２年１月 11 日（土）参加者 26 名

（６）ボランティア活動保険等窓口業務の実施

ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を保障する保険の加入手続き等に関する窓口業務を行いました。

保険種類	内容	加入数	保険料総額
ボランティア活動保険	ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を補償	1,174 名	451,990 円
ボランティア行事用保険	地域福祉活動等の行事における主催者や参加者のケガ等を補償	289 行事	255,830 円
福祉サービス総合補償	在宅・地域福祉サービス中の活動従事者のケガや団体・グループの賠償責任を補償	5 団体	164,486 円
送迎サービス補償	移送・送迎サービス中の交通事故などによる利用者のケガを補償	1 団体	7,840 円

※上記加入者への事故対応 2 件

（７）ボランティアグループ等事業費補助

住民主体による福祉活動の支援及び地域福祉向上に資する為、ボランティアグループが実施する公益的な活動や児童青少年健全育成に取り組む団体が実施する事業について、経費の一部を補助しました。

①ボランティアグループ事業費補助

グループ名	事業名	補助額
ラジヨガ 7	高齢者の転倒防止と認知症予防	45,000 円
人知笑ねっとワーキングの会	歌集制作及び楽譜電子化による笑歌回想力向上	56,000 円
介護予防カトレア体操	介護予防運動教室	30,000 円
恵の会	施設慰問活動	20,000 円

音訳サークル「アイ・あい」	視覚障がい者への情報提供	45,000 円
ヨリモト&フレンドリーパーティ	福祉施設等訪問活動	42,000 円
災害ボランティアコーディネーター三島	南海トラフに備えての災害 VC の能力の底上げ事業	57,000 円
三島手話サークルよつば友の会	夏休み手話で遊ぼう！	30,000 円
三島「親育ち」を応援する会	講演会「イライラ・怒りと上手に付き合う感情の整え方・癒し方」	57,000 円
要約筆記サークル「OHP みしま」	聞こえの個別相談会	46,000 円
ハートフルケアとまり木	バリデーション講演会	57,000 円
三島市人権擁護委員会	人権啓発のための街頭キャンペーンほか	18,000 円
三島地区更生保護女性会	更生・矯正施設への訪問・奉仕活動ほか	17,000 円
合計　12 団体		520,000 円

▲よつば友の会「夏休み手話で遊ぼう！」

②児童青少年健全育成団体事業費補助

グループ名	事業名	補助額
ボーイスカウト三島地区	児童青少年の健全育成	60,000 円
三島市子ども会連合会 JL すくえあ	第 19 回なかよし合宿	22,000 円
ガールスカウト三島地区連絡協議会	１日スカウト体験	22,000 円
合計　3 団体		104,000 円

（８）災害ボランティアの振興

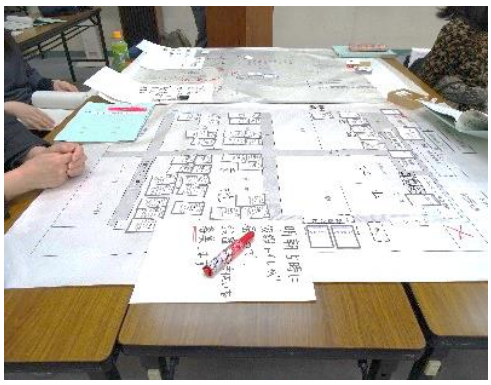
「三島市地域防災計画」において、災害時には市と社会福祉協議会が連携して、

災害時のボランティア受付、活動場所の斡旋及び配置調整等を行う災害ボランティア本部を設置することになっています。この災害ボランティア本部の円滑な運営と的確な被災者支援を図るため、各種事業に取り組みました。

①災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時のボランティア活動が円滑に行われるように、ボランティアの受入れや活動先の調整など、災害ボランティア活動の中核的な役割を担う「災害ボランティアコーディネーター」の養成を目的に開催しました。

開催日	会場	内容
令和２年 ２月９日（日）	三島市社会福祉会館	災害ボランティアコーディネーター養成講座 講師：静岡県東部地域局／当会職員／静岡県ふじのくに防災マイスター／災害ボランティアコーディネーター三島 参加者：15 名



②令和元年度三島市総合防災訓練　災害ボランティアセンター開設訓練

災害ボランティアコーディネーター三島のメンバーを中心に、三島南高等学校生徒をボランティア役として開設訓練を実施しました。

開催日	会場	内容
令和元年 ９月１日(日)	県立三島南高等学校体育館１階	災害ボランティアセンター開設訓練 内容：本部開設・ボランティア受付・ボランティア現地派遣訓練

４　福祉教育事業

（１）福祉教育プログラムの実施

地域で生活している障がいのある方や福祉関係のボランティア活動者で構成する講師連絡会を設置し、学校等からの依頼に基づき、福祉教育プログラムを実施しました。

①講師連絡会構成員

選出区分	氏名	備考
視覚障がい者（盲導犬ユーザー）	杉山典行	
聴覚障がい者（手話講師）	中川みゆき	
身体障がい者（車椅子ユーザー）	清野一博	
当事者家族	清野佳代子	
ボランティア活動者（点字）	高橋洋子	すぎなの会
ボランティア活動者（要約筆記）	西井菜穂子	OHP みしま

②福祉教育プログラムの実施状況

実施日	内容	対象
令和元年 5 月 16 日(木)	当事者及び当事者家族講話(身体障がい・車椅子)	沢地小学校 5 年生 41 名
令和元年 5 月 30 日(木)	当事者講話（視覚障がい・盲導犬）	沢地小学校 5 年生 41 名
令和元年 6 月 6 日（木）	当事者講話（聴覚障がい・手話）	沢地小学校 5 年生 41 名
令和元年 6 月 20 日(木)	高齢者についての講義	沢地小学校 5 年生 41 名
令和元年 7 月 5 日(金)	体験学習（車椅子、手話、白杖・アイマスク、点字、高齢者疑似体験）	沢地小学校 5 年生 41 名 及び保護者
令和元年 12 月 4 日(水)	当事者講話（視覚障がい・盲導犬）	西小学校 4 年生 58 名

（２）バリアフリー教室の開催

国土交通省静岡運輸支局、三島市、本会の共催で、三島市移動等円滑化構想の基本方針の一つである「こころのバリアフリー」を推進するため、標記教室を開催しました。

開催日	内容	対象
令和元年 11 月 20 日（水）	障がい者講話、アイマスク着用による視覚障がいの体験、車椅子体験、福祉車両、低床バス乗降体験	山田小学校 4 年生 74 名

（３）ふくし映画上映会の開催

より多くの市民に福祉への関心や理解を深めていただけるよう、福祉的要素を含んだ映画作品の上映会を開催しました。また、この上映会において共同募金の使われ方等について映像で紹介するなど、10 月から開始される共同募金運動を推進しました。

開催日	会場	上映作品	入場者
令和元年 7 月 25 日（木）	三島市民文化会館小ホール	「映画：若おかみは小学生」 「5 等になりたい」	254 名

５　広報啓発事業

（１）社協だより「はつらつ」の発行

社協事業の紹介をはじめ、各種福祉サービスや福祉情報を住民に周知するため、社協広報紙「はつらつ」を年 5 回発行しました。

発行No.	発行日
100 号	令和元年 5 月 1 日
101 号	令和元年 7 月 1 日
102 号	令和元年 10 月 1 日
103 号	令和元年 12 月 1 日
104 号	令和 2 年 2 月 1 日

（２）ホームページの運営

本会の事業活動、各種福祉サービス・情報等を広く紹介すると共に、本会への理解をより深めていただけるように努めました。

（３）社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、福祉意識の高揚を図りました。また、より多くの住民に福祉について考え理解してもらうきっかけづくりとして、高齢者福祉啓発映画を上映しました。

開催日	会場	内容
令和元年 11 月 27 日（水）	三島市民生涯 学習センター	表彰式 三島市社会福祉協議会会長表彰　51 名 3団体 記念上映 「徘徊ママリン８７歳の夏 ～認知症だって、一生に一回の ママリンの老後～」

（４）児童福祉月間、老人福祉月間の啓発及び障がい者週間の啓発協力

児童・高齢者福祉の理念の普及・啓発の為、市内各所にポスターを掲示しました。

また、三島市が実施する障がい者週間に合わせて、市内各所にのぼり旗を設置しました。

６　福祉総合相談事業

（１）相談事業の実施状況

住民の暮らしの中のあらゆる相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な援助や助言を行い課題解決に向けた取り組みを行うことを目的に本事業を実施しました。

区分	件数	区分	件数
生計	89 件	財産	10 件
年金	0 件	事故	1 件
職業・生業	3 件	児童	9 件
住宅	2 件	教育・青少年	14 件
家族	5 件	障がい者	86 件
結婚・離婚	0 件	母子・父子	21 件

ボランティア	94 件	高齢者	252 件
健康・衛生	8 件	苦情	1 件
医療	27 件	日常生活自立支援事業	41 件
精神保健	26 件	成年後見制度	177 件
人権・法律	4 件	その他	87 件
合計　957 件			

7　権利擁護事業

（1）日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行いました。

①相談・援助実績

初回相談	相談援助	合計
8 件	954 件	962 件

【主な相談援助内容】

・福祉サービスの利用等に関する情報提供、相談、利用手続き、支払い
・年金、福祉手当の受領に必要な手続き、預貯金の出し入れに関する援助
・大切な書類や印鑑等の保管ほか

②契約件数等の内訳

区分	新規申請	決定	却下	解約	契約件数
認知症高齢者	2 件	2 件	0 件	5 件	6 件
知的障がい者	1 件	1 件	0 件	1 件	7 件
精神障がい者	1 件	1 件	0 件	0 件	6 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
合計	4 件	4 件	0 件	6 件	19 件

・解約理由は、施設等入所 2 件、成年後見移行 1 件、転居移管 2 件、本人申出 1 件
・契約件数は、令和 2 年 3 月 31 日現在

③生活支援員の配置

各利用者の契約内容や支援計画に基づいた支援が円滑にできるように、専門員のほかに生活支援員を 8 名配置し、支援を行いました。

（２）法人後見事業

法人後見事業では、法人として成年後見人等を受任し、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方が不利益を被らないように、財産管理及び身上監護に関する契約などの法律行為全般を行うとともに、専門職で構成された成年後見運営委員会を設置し、本会の後見業務の指導、適切な後見業務を担保するための会議等を開催しました。

また、平成30年度市民後見人養成研修修了者が、市民後見人として選任され活動していくことができるように、法人後見支援員として11名を委嘱し、受任ケースの身上監護を担っていただくなど、実務経験を積んでいただきました。

①法人後見受任状況

後見類型	新規	終了	受任件数
後見	2 件	2 件	6 件
保佐	3 件	0 件	9 件
補助	0 件	0 件	0 件
合計	5 件	2 件	15 件

②成年後見運営委員会構成員

選出区分	氏名	所属	備考
法律関係者	原島年央	静岡県弁護士会	委員長
医療関係者	田内美津子	三島市医師会	副委員長
学識経験者	細谷孝一	三島市地域包括支援センター	
法律関係者	井上尚人	成年後見ｾﾝﾀｰﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄ静岡支部	
福祉関係者	岩田正徳	静岡県社会福祉士会	
行政関係者	青木聡	三島市障がい福祉課	
その他	高井昌弘	三島市障がいとくらしを支える協議会	

③成年後見運営委員会の開催状況

開催日	主な内容
平成 31 年 4 月 25 日（木）	法人後見受任依頼ケースについて
令和元年 6 月 4 日（火）	法人後見受任依頼ケースについて
令和元年 6 月 27 日（木）	受任ケース経過報告について
令和元年 8 月 20 日（火）	受任ケース経過報告について
令和元年 12 月 17 日（火）	法人後見内部監査、法人後見監督について
令和 2 年 2 月 18 日（火）	今後の法人後見支援員の活動について
令和 2 年 3 月 19 日（木）	法人後見内部監査の実施

④法人後見支援員の状況

選出区分	支援員登録者	支援員委嘱者
平成 30 年度市民後見養成研修修了者 23 名	14 名	11 名

（３）市民後見人育成事業

市民後見人を養成するため、平成 30 年度より三島市・伊豆市・伊豆の国市・函南町の３市１町の広域的取り組みにより市民後見人養成研修等を実施しています。今年度は、伊豆の国市が幹事市となり、下記の通り実施しました。

また、令和元年度養成研修修了者へ法人後見支援員としての登録意向を確認し、希望者に対して面接を行うなど適性を測ったうえで、2 名を法人後見支援員として決定しました。

①令和元年度市民後見人養成研修の開催（会場：伊豆の国市韮山福祉・保健センター）

No.		開催日	主な内容
基礎研修	1	令和元年 10 月 15 日（火）	市民後見概論
	2	令和元年 10 月 21 日（月）	民法その他法律の基礎
	3	令和元年 10 月 29 日（火）	成年後見制度の基礎
	4	令和元年 11 月 6 日（水）	関係制度・法律
	5	令和元年 11 月 12 日（火）	対象者理解
	6	令和元年 11 月 19 日（火）	市民後見活動の実際
実務研修	7	令和元年 11 月 26 日（火）	市民後見人の実務
	8	令和元年 12 月のいずれか 1 日	福祉施設等での体験実習
	9	令和 2 年 1 月 7 日（火）	家庭裁判所の役割
	10	令和 2 年 1 月 14 日（火）	後見人就任時の実務
	11	令和 2 年 1 月 21 日（火）	後見事務の修了時の実務
	12	令和 2 年 1 月 28 日（火）	課題演習　レポート作成

②令和元年度市民後見人養成研修受講者の状況

市・町	受講者	修了者	法人後見支援員登録
三島市	5 名	4 名	2 名

③市民後見人フォローアップ研修の開催(会場:伊豆の国市韮山福祉・保健センター)

開催日	対象	参加者
令和元年 12 月 3 日（火）	平成 30 年度市民後見人養成研修修了者	25 名

（4）三島市成年後見支援センター（中核機関）の立ち上げ及び運営

成年後見制度の利用促進を図る機関「三島市成年後見支援センター」の立ち上げに向け準備を行い、令和元年 10 月 1 日より三島市社会福祉会館 1 階に設置し、運営を開始しました。また、センターが円滑に機能するように三島市成年後見支援センターコーディネート委員会を設置するとともに、センターが適正な運営を確保できるよう三島市成年後見制度利用促進連携協議会を設置しました。

①三島市成年後見支援センター（中核機関）の立ち上げ準備

実施項目	内容
三島市成年後見支援センター立上準備委員会の開催	センターの設置要綱、機能等について協議・検討。 委員は、三島市成年後見制度利用促進基本計画策定外部アドバイザーである揚野江利子氏（弁護士)、鈴木信宏氏（司法書士)、番場俊文氏（社会福祉士)、原島年央氏（弁護士)、井上尚人氏（司法書士）の 5 名。 開催回数：4 回（4/18、6/6、7/4、8/8）
三島市成年後見支援センターコーディネート準備委員会の開催	コーディネート委員会の機能等について協議・検討。 委員は、揚野江利子氏（弁護士)、鈴木信宏氏（司法書士)、番場俊文氏（社会福祉士)、行政市長申立担当者 2 名の 5 名。開催回数：1 回（9/4）
三島市成年後見支援センターに係る実施要綱等の策定	下記の 4 つを策定。 ・三島市成年後見支援センター事業実施要綱 ・三島市成年後見支援センター運営要領 ・三島市成年後見支援センターコーディネート委員会運営要領 ・三島市成年後見制度利用促進連携協議会運営要領

②三島市成年後見支援センター（中核機関）の運営

ア．広報機能

実施項目	内容
リーフレットの作成・配布	三島市成年後見支援センターの役割、制度の概要等を紹介したリーフレットを作成し、関係機関に設置・配布。

	※A4 両面 2 つ折りサイズ／4 色／2,000 枚作成
三島市社協だより「はつらつ」に掲載	三島市成年後見支援センターの役割、制度の概要等を社協だより「はつらつ」（令和元年 10 月 1 号）に掲載。 ※A4 サイズ 3 ページ／1 色／42,700 部作成
三島市社協ホームページに専用ページを作成	三島市社会福祉協議会ホームページに、三島市成年後見支援センターの専用ページを作成。センターの役割、制度の概要等を紹介。
市民後見人普及啓発講演会の開催	成年後見制度、市民後見の現状について学ぶ講演会。 講師：静岡家庭裁判所沼津支部主任書記官清水健太郎氏／平成 30 年度市民後見人養成研修修了者 2 名 開催日：8/10　会場：三島市社会福祉会館　参加者：33 人
三島市地域包括支援センター社会福祉士会への広報	標記会議の主催者である地域包括支援センターの了承を得て、11/19 の会議にて、市内 5 つの地域包括支援センターの社会福祉士へ三島市成年後見支援センターの機能及び役割について説明。
三島市成年後見支援センター説明会の開催	関係機関を対象に、三島市成年後見支援センター説明会を開催。開催日：11/23　会場：三島市社会福祉会館　参加者：65 人
関係機関会議、研修会等での広報	関係機関から依頼を受け、三島市成年後見支援センターの機能及び特色や取り組み等を紹介。 7/29　静岡県社会福祉協議会主催「市町社協日常生活自立支援事業専門員連絡協議会」 8/2　成年後見センター・リーガルサポート主催「成年後見利用促進セミナーin 静岡」 11/18　三島市保健センター主催「三島市いのちを支える地域ネットワーク会議」 12/25　三島市基幹相談支援センター主催「三島市基幹相談支援センター主催連携会議」 1/8　西小学校区コミュニティ連絡協議会 2/12　三島市錦田地区地域包括支援センター 2/14　静岡県家庭裁判所主催「家事関係との連携協議会」 2/25　長泉町内の地域包括支援センター 2/28　静岡県主催「成年後見制度に係る促進研修」
調査・視察の受け入れ	関係機関から調査・視察の依頼を受け、対応。 11/1　愛知県稲沢市視察 11/8　日本社会福祉士会ヒアリング調査 3/25　静岡市、静岡市社協視察

イ．相談機能

実施項目	内容
一般相談窓口の設置	受付：毎週月～金曜日　8 時 30 分～17 時 15 分 ※土日祝日、年末年始は除く　相談件数：102 件
専門相談窓口（弁護士）の設置	受付：毎月第 1 水曜日　13：00～16：00（要予約 1 回 30 分まで）※土日祝日、年末年始は除く　相談件数：10 件
専門相談窓口（司法書士）の設置	受付：毎月第 1 水曜日　13：00～16：00（要予約 1 回 30 分まで）※土日祝日、年末年始は除く　相談件数：12 件

ウ．成年後見制度利用促進機能

実施項目	内容
三島市成年後見支援センターコーディネート委員会の開催	成年後見制度の申立の必要性、申立人、成年後見人等候補者、支援内容について検討を行う三島市成年後見支援センターコーディネート委員会を開催。合計 27 ケースを検討。 開催回数：7 回（10/11、11/8、12/13、1/10、2/7、3/13）
価値観シートの開発	本人を中心とした支援となるよう適切な候補者選びの際に使用する「価値観シート」を開発。
マッチング（後見人等と被後見人等）についての取り組み	12/6 に家庭裁判所とマッチングについて打合せ。 関係団体へ団体概要と受任までの流れの確認についてアンケート調査。アンケート調査の結果を基に、各団体の役割の明確化と擦り合わせ行うため、1/30 に打合せ会を開催。静岡県弁護士会、リーガルサポート静岡支部、ぱあとなあ静岡、静岡県精神保健福祉士協会、コスモス成年後見サポートセンター静岡県支部、しんきん成年後見サポート沼津、家庭裁判所沼津支部、三島市、三島市社会福祉協議会の 9 団体が参加。

③三島市成年後見支援センターコーディネート委員会構成員

選出区分	氏名	所属	備　考
弁護士	揚野江利子	静岡県弁護士会	委員長
司法書士	鈴木　信宏	成年後見ｾﾝﾀｰﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄ静岡支部	副委員長
社会福祉士	番場　俊文	静岡県社会福祉士会ぱあとなあ静岡	
行政市長申立担当者	青 木　　聡	三島市障がい福祉課	
行政市長申立担当者	藤井平四郎	三島市福祉総務課	

④三島市成年後見制度利用促進連携協議会

ア．構成員

選出団体等	氏名	備　考
静岡県弁護士会沼津支部	関　　亮 子	会長
成年後見センター・リーガルサポート静岡支部	露木　博幸	
静岡県精神保健福祉士協会 会長	澤野　文彦	
コスモス成年後見サポートセンター静岡支部 幹事	川合　礼恵	
静岡県社会保険労務士会三島支部 顧問	岡田　順二	
三島市医師会／ 三島市社会福祉協議会成年後見運営委員会 副委員長	田内美津子	
三島信用金庫元気創造部 商品開発課 主査	岡 本　　恵	
静岡銀行三島支店 支店長	望月　隆生	
静岡中央銀行三島支店 支店長	山 口　　誠	
三島中央町郵便局 局長	鈴木　孝則	
三島市自治会連合会 副会長	内田　新一	
三島市民生委員・児童委員協議会 理事（副会長）	野 田　　弘	
三島市介護支援専門員連絡協議会 会長	鈴木　康明	
三島市障がいと暮らしを支える協議会	高木　文明	
地域包括支援センター三島	兼子　恵美	
三島市 福祉総務課長	沼上　勝一	
三島市社会福祉協議会 会長	中村　正蔵	副会長

イ．開催状況

開催日	主な内容
令和 2 年 2 月 25 日（火）	三島市成年後見支援センターの事業報告、関係機関との情報交換

８　セーフティーネット事業

（１）生活福祉資金貸付

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。

また、令和２年３月 25 日より新型コロナウイルス感染症の発生に伴う緊急小口資金特例貸付を実施しました。

※貸付の可否や債券管理等は実施主体である静岡県社会福祉協議会となります。

①相談活動状況

項目	件数
貸付相談	176 件
償還相談	17 件
訪問状況	4 件
民生委員との連絡調整	19 件
連携（連絡調整）した機関（生活支援センター、福祉事務所ほか）	81 件
合計	297 件

②新規貸付件数

項目	申請	決定	却下	貸付決定額
福祉資金	2 件	2 件	0 件	2,172,000 円
教育支援資金	2 件	1 件	1 件	280,000 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 件	0 件	0 円
緊急小口資金	2 件	2 件	0 件	157,000 円
総合支援資金	0 件	0 件	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件	0 件	0 円
緊急小口資金特例貸付	3 件	3 件	0 件	500,000 円
合計	9 件	8 件	1 件	3,109,000 円

（２）生活一時扶助金・食糧支援

解雇や病気等の理由により、初回満額給料日や年金支給日等までに生計の維持が困難な方への支援として、年１回 10,000 円を限度とする生活一時扶助金の交付、フードバンクふじのくにより取り寄せた食糧や住民からいただいた食糧の提供を実施しました。

生活一時扶助金	食糧支援	
12 件 （交付総額 120,000 円）	39 件	

（３）歳末見舞金の贈呈

年末年始に、経済的に支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、住民の善意から成り立つ歳末たすけあい募金を活用し、民生委員・児童委員の協力を得て見舞金を贈呈しました。

世帯数							世帯数計	贈呈総額
1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人		
23 件	32 件	44 件	21 件	6 件	4 件	3 件	133 件	1,554,000 円

※見舞金は 1 人世帯 8,000 円、世帯内に 1 人増えるごとに 2,000 円増

９　指定事業所の運営

（１）介護保険事業所及び障がい福祉サービス事業所の運営

利用者本位を基本とし、サービスの質の向上に努めながら住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護保険法に基づく「居宅介護支援」・「訪問介護」のサービス、また、介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型（独自/定率）」・「訪問型サービスＡ」のサービス、障がい者総合支援法に基づく「居宅介護」・「重度訪問介護」のサービスを提供しました。

①従事者数内訳（令和 2 年 3 月 31 日現在）

職種	常勤	非常勤	登録	計
介護支援専門員	1 名	2 名	0 名	3 名
ホームヘルパー	4 名	6 名	0 名	10 名
合計	5 名	8 名	0 名	13 名

②介護保険事業等収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
訪問介護	357 件	19,598,507 円	1,896,315 円	21,494,822 円
訪問介護公費分	39 件	535,883 円	0 円	535,883 円
訪問型（独自）	237 件	3,949,032 円	428,487 円	4,377,519 円

訪問型(独自)公費分	39 件	82,051 円	0 円	82,051 円
居宅介護支援	780 件	9,705,676 円	0 円	9,705,676 円
予防計画作成	420 件	1,667,492 円	0 円	1,667,492 円
合計	1,872 件	35,538,641 円	2,324,802 円	37,863,443 円

③障がい福祉サービス事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
居宅介護	293 件	9,133,117 円	136,279 円	9,269,396 円
重度訪問介護	12 件	1,099,678 円	0 円	1,099,678 円
合計	305 件	10,232,795 円	136,279 円	10,369,074 円

（２）障がい者通所施設の運営

利用者に様々な生きがいを提供できるように努めるとともに、可能性を広げる支援の充実を目指し、生活介護事業所 2 か所及び就労継続支援Ｂ型事業 1 か所を運営しました。

①運営施設の概要

ア．指定生活介護事業所えがお(所在地:新谷 190-2　定員：40 名)

作業内容	自主作業	クッキー・パウンドケーキ作り、ジャム作り、着物リサイクル、アルミ缶・古紙・廃油リサイクル回収、縫製品、紙すき、ビーズ製品ほか
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、自立に向けた掃除・洗濯・買い物等の支援、創作活動、調理実習、健康支援、身体機能の維持・向上のための支援ほか
	その他	クリスマス会、防災訓練、他施設・学校等の交流会、希望外出、地域イベント参加、音楽療法、運動療法、地域清掃、ボランティア交流会ほか

イ．指定就労継続支援 B 型事業所さわじ作業所(所在地:沢地 246-11 定員：20 名)

作業内容	自主作業	木工製品、防災製品（黄色いハンカチ)、アルミ缶・古紙リサイクル回収、レーザー加工製品、缶バッジ、共同店舗運営、UV プリント加工
	下請作業	清掃作業（体育館・保健センター)、しおり作り、バンド巻、ネイル用品封入、近隣観光施設用製品作り

生活指導内容	就労訓練	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、作業に必要な技能・接遇などの訓練、買い物訓練、余暇支援、健康支援ほか
	その他	機能訓練、ボランティア交流会、防災訓練、社会見学、地域交流祭り、調理実習、地域の小学校・幼稚園との交流

ウ．指定生活介護事業所おんすいち(所在地:富田町 3-19　定員：20 名)

作業内容	自主作業	ビーズ製品（きらきらバンド・ブレスレット・携帯ストラップ)、野菜作り、縫製品、ステンシル製品、アルミ缶・古紙リサイクル回収、クッキー・ジャム作り
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、調理実習、創作活動、健康支援、身体能力維持・向上（スポーツ・プール・歩行訓練等）ほか
	その他	防災訓練、工場見学、避難所体験、買物訓練、希望外出、手話、音楽療法、詩吟、地域交流ほか

②年代別利用者数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
20 歳未満	2 名	2 名	1 名	0 名	0 名	0 名	5 名
20～29 歳	9 名	6 名	5 名	0 名	3 名	5 名	28 名
30～39 歳	4 名	4 名	1 名	4 名	7 名	3 名	23 名
40～49 歳	5 名	4 名	4 名	4 名	3 名	0 名	20 名
50～59 歳	2 名	2 名	2 名	2 名	0 名	0 名	8 名
60 歳以上	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名
合計	23 名	18 名	14 名	10 名	13 名	8 名	86 名
	41 名		24 名		21 名		

③障がい別利用者数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
知的障がい	8 名	11 名	12 名	10 名	11 名	6 名	58 名
身体障がい	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名

重複障がい	14名	7名	1名	0名	2名	2名	26名
合計	23名	18名	14名	10名	13名	8名	86名

④開所日数及び利用者数

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち	
	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数
4月	19日	44名	19日	24名	19日	21名
5月	19日	44名	19日	24名	19日	21名
6月	20日	44名	21日	24名	20日	21名
7月	22日	44名	22日	24名	22日	21名
8月	20日	44名	20日	24名	20日	21名
9月	19日	44名	19日	24名	19日	21名
10月	21日	44名	21日	24名	21日	21名
11月	20日	43名	20日	24名	20日	21名
12月	19日	42名	19日	24名	19日	21名
1月	19日	42名	19日	24名	19日	21名
2月	18日	42名	18日	24名	18日	21名
3月	19日	41名	19日	24名	19日	21名
合計	235日	518名	236日	288名	235日	252名

⑤利用者工賃概要

区分	当年度		前年度	
	総額	1人当たり/月	総額	1人当たり/月
えがお	1,996,795円	3,869円	2,760,564円	5,751円
さわじ作業所	3,815,181円	13,247円	4,584,748円	19,208円
おんすいち	798,377円	3,168円	907,446円	3,601円

⑥障がい福祉サービス事業収入内訳

施設名	サービス名	件数	保険給付費
えがお	生活介護(通所)	517件	85,077,071円
さわじ作業所	就労継続支援Ｂ型(通所)	288件	37,903,410円
おんすいち	生活介護(通所)	252件	39,395,020円
合計		1,057件	162,375,501円

１０　受託施設の運営

（１）社会福祉会館の運営（指定管理）

三島市社会福祉会館は、社会福祉事業の振興と市民一人ひとりが福祉活動への関心を深めその育成発展を図るために昭和 49 年 7 月に建設されました。この管理運営を三島市から指定管理者として受託し、福祉活動の場を提供し市民の活動拠点として有効に活用していただきました。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数 337 日　1 日平均 78.6 人

利用種別	利用回数	利用人数
民生委員関係	93 回	1,459 人
身体障がい者関係	411 回	5,744 人
老人福祉関係	74 回	1,548 人
児童福祉関係	5 回	118 人
更生保護関係	90 回	1,186 人
社会福祉協議会関係	348 回	3,486 人
その他	395 回	12,949 人
合計	1,416 回	26,490 人

（２）老人福祉センターの運営（指定管理）

平成 30 年度より新たに 5 年間、三島市より指定管理者として指定を受けましたので、引き続き老人福祉センターの設置目的を果たすべく、施設の適切な管理と運営及び、利用者が生きがいを持ち楽しく仲間づくりができる心身の健康づくりの場の提供に努め、老人クラブとの連携協力のもと、各種講座・教室等を開催し高齢者の健康増進、教養の向上・リクレエーションの場として次のように利用してまいりました。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数 263 日　1 日平均 219 人

団体利用者	個人利用者	合計
7,457 人	50,063 人	57,520 人

②事業・講座等

名称	実施回数	受講・利用者数
防犯講習会	3 回	381 人
火災予防講習会	5 回	536 人
健康教育講座	2 回	190 人

教養講座	2 回	244 人
音楽教室	5 回	539 人
薬とくらしの教室	6 回	614 人
気持ちいいヨガ教室	6 回	658 人
折り紙教室	1 回	81 人
世代間交流会	3 回	294 人
髪のお手入れについて	6 回	660 人
ヘルストロンと健康について	6 回	677 人
クラブ活動／社交ダンス	22 回	210 人
クラブ活動／習字	22 回	355 人
クラブ活動／グラウンドゴルフ	86 回	444 人
クラブ活動／レコード鑑賞	5 回	52 人
クラブ活動／囲碁	165 回	330 人
クラブ活動／将棋	192 回	384 人
健康サロン	65 回	1,532 人
その他　健康相談者数		1,670 人
合　　計	602 回	9,851 人

１１　その他の事業

（１）三島市共同募金委員会としての共同募金業務

平成 15 年に社会福祉法人静岡県共同募金会と三島市社会福祉協議会の間に取り交わされた事務申し立てに従い、三島市共同募金委員会の事務を担い、各種募金活動や運営委員会の開催などを実施しました。

令和元年度実績額	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
	8,697,379 円	2,567,426 円

（２）助成事業

下記団体が実施する事業を助成しました。

団体名称	事業名	助成額
三島市小中学校連合修学旅行団体	準要保護世帯児童への修学旅行費用の助成（小学校６年生　64 件　5,000 円/件）	320,000 円
三島市中学校修学旅行団体	準要保護世帯生徒への修学旅行費用の助成（中学校３年生　69 件　7,000 円/件）	483,000 円
三島市子ども会連合会	子どもカップ中央球技大会	100,000 円
	子ども会フェスティバル	63,000 円
	アウトリーダー講習会	100,000 円
三島地区保護司会	社会を明るくする運動	160,000 円
三島市民間社会福祉施設協議会	民間社会福祉施設職員の質の向上	225,000 円
三島市民生委員児童委員協議会	福祉活動に関する事業	412,000 円
	広報紙「ぬくもり」の発行	100,000 円
三島市遺族会	戦没者等の慰霊・参拝事業	80,000 円
合計　７団体		2,043,000 円

（３）福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸出事業

在宅の外出困難な高齢者及び障がい者等の生活圏拡大と社会参加を支援し、日常生活の向上を図ることを目的に実施しました。

福祉車両貸出	車椅子貸出	介護補聴器貸出
63 件	147 件	1 件

（４）障がい者スポーツ大会参加支援

市内の障がい者支援事業所及び関係団体の会員が参加する三島市との共催事業

の障がい者スポーツ大会において、本会事業所の参加はもとより多くの方の参加推進を図るため、バス 2 台を借り上げ、会場まで巡回バスを往復 1 回運行しました。

（５）生きがい教室の運営

介護予防事業の一環として、市の委託を受けて市立西小学校、東小学校、南小学校の余裕教室 3 箇所に「生きがい教室」を開設。家庭にとじこもりがちな高齢者に交流の場を提供し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するため、各種サービスを提供しました。

①利用状況

	西小 生きがい教室	東小 生きがい教室	南小 生きがい教室	合計
開所日数	208 日	207 日	208 日	623 日
延べ利用者数	5,337 人	5,825 人	5,490 人	16,652 人
平均利用者数	25.7 人/日	28.1 人/日	26.4 人/日	26.7 人/日

②介護予防普及啓発事業の実施

実施場所	回数	参加者	内　　容
西小 生きがい教室	14 回	176 人	・３Ｂ体操／インストラクターの指導により楽しみながらストレッチ及び体操を行ない介護予防に努めました。 ・健康表現体操／ストレッチ、筋力トレーニング、気功、表現体操などの運動要素を取入れ、体力の維持・増進を図りました。 ・音楽療法／歌唱や楽器演奏を通して、精神的・心理的な効果を得ることにより心身の健康維持と向上を図りました。
東小 生きがい教室	13 回	364 人	
南小 生きがい教室	12 回	140 人	

（６）高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

市営加茂住宅Ａ棟で実施している「高齢者世話付住宅(令和 2 年 3 月 1 日現在 18 世帯 22 名居住)」に対して 3 名の生活援助員を配置し、2 交代制のシフト勤務で居住者に対する生活指導及び相談を充実するとともに、安否確認、一時的な家事援助などの生活支援を実施しました。

（７）実習生の受け入れ

社会福祉士、看護職等を目指す実習生を積極的に受け入れ、次代の福祉を担う人材育成に協力しました。 ※社会福祉士の実習指導者は、資格要件を満たし実習指導者研修課程を修了した者です。

実習生	受入期間
順天堂大学保健看護学部　41 名	令和元年 8 月 19 日～8 月 22 日（3 日間）
順天堂大学保健看護学部　50 名	令和元年 9 月 2 日～9 月 5 日（3 日間）
日本福祉教育専門学校生徒 1 名	令和 2 年 3 月 23 日～4 月 28 日（24 日間）